

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和5年7月25日

### 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">地域連携DMO</span> ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人八重山ビクターズビューロー	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	沖縄県石垣市、竹富町、与那国町	
所在地	沖縄県石垣市大川 547 番地 興ビル 206 号室	
設立時期	平成 27 年 4 月 1 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	7 人【常勤 7 人（正職員 3 人・出向等 2 人・非正規職員 2 人）】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	中山 義隆 （石垣市長）（兼任）	石垣市の市長を務めており、竹富町、与那国町を含む 3 市町の連携エリア「八重山地区」を代表し取り纏めている。国内外への観光誘致等においてもトップセールスを積極的に実施する等行動している。本ビューロー設立時より代表理事を務めている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	我那覇 宗広（専従） 出身組織名：日本トランスオーシャン航空株式会社	航空会社で監査部長、販売部長、経営企画副部長を務めた経験を活かし、観光情報の収集分析や観光客の誘致及び受け入れに関する戦略等をまとめていく。
インバウンド・旅行商品の造成・販売の責任者		
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	綿貫 周平（専従） 出身組織名：株式会社日本旅行	株式会社日本旅行の前職である官公庁での事業立案、予算管理、補助金業務の経験を活かし、持続可能な運営のための運営収支や財源確保、事業継続に従事する。

<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>石垣市 企画部（地域社会総合企画推進）          企画部観光文化課（マーケティング・観光推進）          竹富町 自然観光課（観光振興・自然環境）          与那国町 企画財政課（社会資本整備・観光推進・公共交通）          八重山広域市町村圏事務組合（地域連携）          沖縄県 文化観光スポーツ部（観光政策、受入整備等）          沖縄県 八重山事務所総務課（地域観光誘致推進）</p>
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>【八重山圏域内観光振興対策の推進】          ・石垣市商工会、竹富町商工会、与那国町商工会、八重山経済人会議、JA おきなわ-やえやま、八重山漁業協同組合、石垣島特産品詰め隊（物産・施設）          ・八重山タクシー事業協同組合、東バス、八重山観光フェリー、安栄観光（二次交通）          ・沖縄県建設業協会八重山支部、八重山地区宅地建物取引業社会（宿泊施設）          ・海上保安庁第11管区（平成30年6月、八重山諸島における教育旅行関係者の誘客、受け入れ、学びにおける観光地域づくりの推進に関する協定書を第11管区海上保安本部石垣海上保安部、第11管区海上保安本部石垣航空基地、八重山ビクターズビューロー及び八重山教育旅行誘致委員会間で締結）          【八重山圏域観光資源の開発及び受入体制整備】          ・石垣市観光交流協会、竹富町観光協会、与那国町観光協会</p>
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】          ①取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画          ⇒石垣市長、竹富町長、与那国町長、沖縄県八重山事務所所長、石垣市観光交流協会副会長、竹富町観光協会会長、与那国町観光協会会長、石垣市商工会会長、竹富町商工会会長、与那国町商工会会長、八重山経済人会議代表が理事として参画。CMOであるYVB常任の専務理事が中核となり理事会を定期的に実施している。          ②観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置          ⇒組織内に多様な関係者で構成される各種委員会の中核的立場として「八重山広域ビジョン推進戦略室」を設置。          ・圏域における問題や課題、要望、提案等を集約し協議を行うべく、八重山圏域ビジョン会議のワーキンググループを開催。          ・YVBの事業計画、予算等について行政と話し合う「3市町YVBミーティング」を実施。          ・CRMアプリで収集したデータを関係者と共有・分析する「八重山アプリデータ共有会議」を開催。          ・OCVB、各市町の観光協会およびYVBの実務担当者が出席し、事業計画等を共有する「OCVBとの八重山圏域合同意見交換会」を実施。          ・八重山圏域の交通事業者（船会社、バス会社）を中心とし、地域の二次交通の課題に取り組む「八重山観光・交通コンソーシアム」を運営。          ・観光客が求める安全安心な情報を一元化し発信するための「観光情報基盤構築事業（観光情報のオープンデータ化）」勉強会に参画。          ・その他地域の課題に応じたワーキンググループも随時検討。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>・地域住民の観光業についての意識調査に関して、アンケートの実施。（2019年2月、2022年2月）</p>

- ・竹富町におけるインバウンド観光客を意識した観光人材育成セミナーの実施（第1回：2019年11月28日、第2回：2019年12月13日、第3回：2020年1月30日）
- ・地域住民を含めた観光地域づくり法人の理解と啓発を目的としたシンポジウムを開催。2018年8月・12月、2019年3月
- ・石垣市が観光人材の育成を目的に地元の高校生を対象としたプロジェクトとして、路線バスで巡る観光パンフレットを作成。
- ・石垣市主催の石垣市観光プラットフォーム会議を開催し、住民向けアンケート及び来訪者向けアンケート結果内容について多種多様な業種の市民が参加し情報共有および課題に対する対応について意見交換を実施。パネリストとしてYVB専務理事が参加。（2019年度）
- ・ユニバーサルツーリズムの理解と啓発を目的としたセミナー。（沖縄県と連携。2018年8月）
- ・竹富町の観光従事者を対象にインバウンド観光客の受入意識調査（2018年12月～2019年3月）。座談会も併せて実施。
- ・石垣市によるWEBでの住民向け観光意識調査（2018年）
- ・多種多様な業種から参画のビジョン会議メンバーを中心に、専門家によるSDGs勉強会を実施。（2018年12月～2019年3月迄、計3回）
- ・現在の課題抽出を目的として、石垣市長（YVB会長）と八重山圏域ビジョン会議メンバーに観光協会、青年会議所のメンバーを交えた意見交換会を実施。（2019年3月）
- ・八重山諸島への来訪者に対して八重山諸島の魅力・見所をわかりやすく伝えるキャッチフレーズ「島色、無限大∞」およびロゴの採用、周知を図る。マスコミ（新聞、ケーブルテレビ）、SNSを通しての発信・航空会社及び旅行会社へトップセールス実施・旅行商品パンフレット、WEBへの掲載依頼。

法人のこれまでの活動実績

**【活動の概要】**

事業	実施概要
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島観光活性化事業（平成24年度～現在） 滞在日数や消費単価拡大の解決策の一つとして、離島周遊を促すことがあげられていることから、八重山ならではの魅力（伝統芸能文化、自然、食文化など）の発信、PRを実施。 令和4年度実施内容 SNSプロモーション （八重山島ぐらしカレッジのSNSサイト運営および冊子制作） 食文化観光プロモーション （八重山の食材を使用したワークショップの開催及びYouTubeでの生配信） 外国人向け情報サイト強化 （台湾人、香港人向けWebサイトでの記事掲載） 与那国島情報サイト強化 イベント等出展によるPR （沖縄チャンプルーカーニバル、MRO旅フェスタ2022、ツーリズムEXPOジャパン2022、ビギンの一五一会コンサート、全国発酵食品サミット in よこて、ABCラジオまつり、沖縄観光&amp;地域物産展、蘇澳鎮&amp;石垣市姉妹都市締結28周年記念物産交流会、九州旅行博覧会2023） パンフレットツール類制作</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li> <p>・与那国町誘客促進活性化事業（平成 30 年度～現在）</p> <p>与那国町の安定的な発展のため、国内での効果的なプロモーション事業を推進し、マーケットニーズに即した誘客活動の展開や、与那国ブランドの確立に取り組む。産業や地域を超えた連携体制を構築しながら、国内主要マーケットに対するマーケティング情報を踏まえた誘客イベント等を展開し、年間を通して楽しめる与那国島の魅力を効果的に発信。</p> <p>令和 4 年度実施内容</p> <p>情報発信ツール制作 （パンフレット増刷、ノベルティ制作）</p> <p>既存事業強化 （お土産品開発調査支援、イベント出展）</p> </li>   <li> <p>・八重山観光親善大使事業（平成 24 年度～現在）</p> <p>ミス八重山の運営管理。国内外における八重山観光関連公式行事やイベントにおいて、八重山観光の PR と親善交流を実施。また個人ダイレクトマーケティングの一環としての SNS 情報発信も実施。</p> <p>令和 4 年度実施内容</p> <p>派遣延べ日数：72 日（2 人合計）</p> <p>Facebook：フォロワー数 6,083 人 投稿回数 291 回 （令和 5 年 3 月時点）</p> <p>Instagram：フォロワー数 6,861 人 投稿回数 174 回 （令和 5 年 3 月時点）</p> </li>   <li> <p>・八重山観光感謝のつどい（平成 24 年度～現在）</p> <p>これまでの八重山観光振興に尽くされた関係者への感謝の意を伝えるとともに、八重山観光の方針や取り組みを発信し共有する機会として実施。</p> <p>令和 4 年度実施内容</p> <p>現地八重山での島外旅行会社を対象とした八重山観光セミナーおよび観光事業者との大商談会を実施。</p> <p>参加者：旅行会社 19 社 66 名 地元事業者 33 社</p> </li>   <li> <p>・八重山の海びらき（平成 24 年度～現在）</p> </li> </ul>
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<p>「日本最南端の海びらき」の会場を、毎年開催地を3市町で変更しながら実施。ミス八重山の発表を同時に実施することにより、それぞれの地域のPR効果を高める。</p> <p>令和4年度実施内容 令和5年3月26日 与那国島開催 約400名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八重山教育旅行誘致委員会 民間企業を会員とする「八重山教育旅行誘致委員会」事務局を運営。</li> <li>・DMO強化対策事業（平成30年度～現在） CRMアプリ「島色、無限大∞」の情報サイト <a href="https://infinity-yaeyama.okinawa/">https://infinity-yaeyama.okinawa/</a>の管理、運営。加盟店情報や観光地情報、イベント情報を発信。また、アプリ会員へのメールマガジン配信や、アプリ上での情報発信も実施。</li> </ul>
	<p>受入環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議への参画 地域連携DMOとしてより良い受入環境整備のために参画し意見具申 令和4年度 石垣市観光地経営戦略会議、石垣市観光地経営戦略チーム、竹富町観光振興基本計画策定委員会、西表島の観光管理計画改定のための作業部会、八重山地域でのDX推進に向けた意見交換会</li> <li>・沖縄地域MaaS導入推進調査事業の会議に委員として参画（令和4年度）。令和5年度は八重山圏域の交通事業者を中心とした「八重山観光・交通コンソーシアム」を設立し、YVBからは引き続き委員（オブザーバー）として参画する他、事務局を担うことで交通事業者との連携を図る。</li> <li>・地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業（令和4年度） 地域事業者や行政等の関係団体と連携し、中長期的な地域の再生・高付加価値化計画を策定。計画に沿って、個別事業者の施設の改修等、地域一体となった面的な高付加価値化の支援を実施。令和5年度も同事業に申請中。</li> <li>・観光情報のオープンデータ化（令和4年度） ビーチや景勝地等、観光客が求める安全安心な情報を一元的に発信するためのデータ整備並びにオープンデータ化の体制構築に向けた勉強会に委員として出席。</li> <li>・与那国町誘客促進活性化事業（平成30年度～現在） 令和4年度実施内容</li> </ul>

		<p>チャーター便就航復活へ向けた支援、高速船チャーター便就航調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DMO 強化対策事業（平成 30 年度～現在） 令和 4 年度実施内容 令和 2 年度誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成事業で導入した CRM アプリ「島色、無限大∞」を活用し、地域データベースを構築。収集したデータを関係者と共有・分析するワーキンググループを開催。</li> </ul>
	<p>観光資源の磨き上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業（令和 4 年度） 酒蔵を巡って楽しめる酒造見学、有料体験コンテンツの創出や泡盛ガイドの育成と酒造見学を含めた地域周遊型プログラムを合わせた「琉球泡盛と地域観光資源を組み合わせた高付加価値ツーリズム創出事業」を実施。</li> <li>新たな沖縄観光サービス創出支援事業（令和 3 年度） 八重山でプロのミュージシャンから三線を習得する、長期滞在で高付加価値の「八重山民謡を習得して八重山とつながろう」モニターツアーを実施。</li> <li>日本初星空保護区八重山における星空ツーリズムコンテンツ造成事業（令和 2 年度） 地域の状況に応じた夜間の楽しみ方を拡充し、地域でのさらなる滞在を促すことを目的としたツアー造成を実施。日本初星空保護区に認定された八重山諸島で、星空ツアーを中心としたナイトタイムコンテンツの磨き上げにより訪日外国人の誘客及び消費拡大を図った。</li> </ul>
<p><b>【定量的な評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>八重山入域観光客数（4 月～翌年 3 月） 平成 28 年度 1,266,778 人（対前年比 107.3%） 平成 29 年度 1,363,465 人（対前年比 107.6%） 平成 30 年度 1,420,142 人（対前年比 104.2%） 令和元年度 1,416,383 人（対前年比 99.7%） 令和 2 年度 493,701 人（対前年比 34.9%） 令和 3 年度 601,435 人（対前年比 121.8%） 令和 4 年度 1,041,530 人（対前年比 173.2%）</li> </ul> <p>平成 16 年度～平成 22 年度の間、八重山の年間入域観光客数は 70 万人台の記録が続いていたが、平成 25 年の南ぬ島石垣空港開港後、観光客数は大幅に伸び、平成 25 年度は 98 万人台を記録。平成 26 年度は初の 100 万人台を記録し、令和元年度は過去最高の 141 万人を突破した。令和 2 年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響は令和 4 年も続き、国際線、クルーズ船の休止が大きく影響し 104 万人にとどまった。</p>		



**実施体制**

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

**【実施体制の概要】**

石垣市・竹富町・与那国町の行政、沖縄県八重山事務所・八重山広域市町村圏事務組合・八重山経済人会議・石垣市商工会・竹富町商工会・与那国町商工会・石垣市観光交流協会・竹富町観光協会・与那国町観光協会の計 12 団体で組織されている。沖縄県より地域観光政策に関する受託事業による連携や各自自治体との連携。また、民間企業との連携で、「八重山教育旅行誘致委員会」「八重山圏域ビジョン会議」「八重山観光・交通コンソーシアム」を設置。

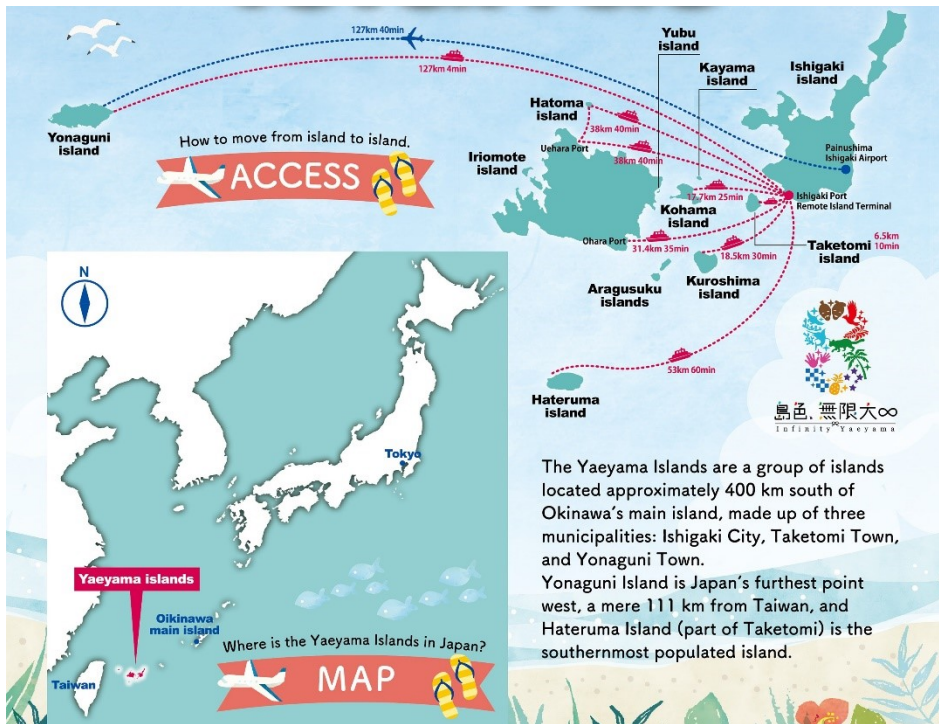
**【実施体制図】**

別添様式 2 のとおり

**2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域**

**【区域の範囲】** 日本最南西端の八重山諸島：

石垣島・竹富島・小浜島・西表島・黒島・鳩間島・新城島・加屋真島・与那国島・由布島・波照間島



**【区域設定の考え方】**

八重山圏域における 11 の有人島がここに魅力を保持し八重山の観光と経済発展に寄与してきた歴史を含め、また小規模離島の地域単独での観光への注力が限定的なこともあり 3 市町が一体になり取り組むことや、地域の多様な観光と経済関連団体と連携を強化し、観光客の誘致と受入体制整備を図ることにより観光事業を軸とした地域経済への波及効果と文化の向上促進を図り、合わせて地域住民の幸福度向上に寄与することを旨とする。

**【観光客の実態等】**

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

令和3年4月～令和4年3月													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入域観光客数(人)	51,509	38,743	27,152	49,271	54,347	39,113	59,826	64,721	67,616	38,673	31,223	79,241	601,435
内日本人	51,509	38,743	27,152	49,271	54,347	39,113	59,826	64,721	67,616	38,673	31,223	79,241	601,435
内外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マカオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アジア(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他諸外国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
観光消費額(億円)	41.1	29.6	20.8	40.2	44.2	31.7	46.2	50.7	52.7	35.5	28.8	73.9	403.9
延べ宿泊数(万泊)													200.3

令和4年4月～令和5年3月													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入域観光客数(人)	73,573	69,937	77,443	100,264	101,413	72,955	100,026	90,267	83,252	71,800	81,846	118,887	1,041,663
内日本人	73,573	69,937	77,443	100,264	101,413	72,955	100,026	90,267	83,252	71,800	81,713	118,887	1,041,530
内外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133
台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133	0	133
香港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マカオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アジア(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他諸外国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
観光消費額(億円)	35.5	28.8	73.9	68.7	63.1	70.2	95.5	96.4	69.1	91.0	83.0	75.8	851
延べ宿泊数(万泊)													

**【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】**

※観光資源の活用方法についても記入すること。

星空保護区：日本初の星空保護区（ダークスカイパーク）（西表石垣国立公園）

星空観賞ツアー等、ナイトタイムコンテンツを提供

世界自然遺産：竹富町西表島

竹富町の認定ガイドによるツアーの提供。

〈観光地・施設〉

石垣島：川平湾・米原キャンプ場・バナナ公園・御神崎・海水浴場・玉取崎展望台・平久保灯台・石垣市立博物館・平和祈念公園・具志堅用高記念館・唐人墓・国立天文台、野底マーペ、屋良部岳、他

竹富島：竹富島ビジターセンターゆがふ館・カイジ浜・コンドイビーチ・竹富民芸館、他

小浜島：大岳・シュガーロード・細崎海岸、他

西表島：西表野生生物保護センター・仲間川・浦内川・由布島・マリユウドの滝・ピナイサーラの滝、他

鳩間島：前の浜・鳩間島展望台、他

黒島：黒島ビジターセンター・プズマリ・黒島研究所・仲本海岸、他

波照間島：日本最南端の碑、ニシ浜、他

与那国島：日本最西端の碑・与那国町伝統工芸館・DiDi 与那国島歴史文化交流資料館・立神岩・ティンダバナ、Dr. コトー診療所ロケ地、他



〈伝統文化・芸能〉

みんさー織・草木染手織・八重山上布・陶芸・焼き物・伝統行事の面・アンガマ・獅子舞・八重山民謡・八重山舞踊 等

〈イベント〉

各地の伝統行事（豊年祭・ハーリー・種子取祭・節祭り、他）  
石垣島まつり・南の島の星まつり・ぱいぬ島まつり・黒島牛まつり・マラソン（石垣島・西表島・与那国島）・与那国島国際カジ釣り大会・音楽祭（鳩間島・西表島）、他

〈スポーツ〉

グレートアース石垣島・石垣島トライアスロン大会・千葉ロッテマリーンズ春季キャンプ

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

\*令和3年12月31日現在

		石垣市	竹富町	与那国町	合計
ホテル・旅館	軒数	77	24	9	110
	収容人員	11,513	2,248	408	14,169
民宿・ペンション・貸別荘	軒数	268	104	16	388
	収容人員	2,911	1,549	349	4809
その他(ユースホステル等)	軒数	68	20	3	91
	収容人員	1,444	377	42	1863
合計	軒数	413	148	28	589
	収容人員	15,868	4,174	799	20,841

\*令和4年12月31日現在

		石垣市	竹富町	与那国町	合計
ホテル・旅館	軒数	81	24	9	114
	収容人員	11,645	2,263	408	14,316
民宿・ペンション・貸別荘	軒数	279	104	17	400
	収容人員	2,993	1,551	355	4899
その他(ユースホステル等)	軒数	76	21	4	101
	収容人員	1,545	383	46	1974
合計	軒数	436	149	30	615
	収容人員	16,183	4,197	809	21,189

\* 沖縄県 宿泊施設実態調査より

【利便性：区域までの交通、域内交通】

\* 県外・国外から八重山圏域までの交通

石垣空港⇄東京国際空港（羽田） 日本航空・全日本空輸  
 石垣空港⇄成田国際空港 Peach Aviation  
 石垣空港⇄中部国際空港 日本トランスオーシャン航空・全日本空輸・Peach Aviation  
 石垣空港⇄関西国際空港 日本トランスオーシャン航空・全日本空輸・Peach Aviation  
 石垣空港⇄大阪国際空港（伊丹） 全日本空輸※夏季のみ  
 石垣空港⇄福岡空港 全日本空輸（運休中）・Peach Aviation  
 石垣空港⇄香港国際空港 香港エクスプレス（運休中）  
 石垣空港⇄台湾桃園空港 中華航空（運休中）

\* 県内での交通

石垣空港⇄那覇空港 日本トランスオーシャン航空・琉球エアコミューター・全日本空輸・ソラシドエア  
 石垣空港⇄宮古空港 琉球エアコミューター  
 石垣空港⇄与那国空港 琉球エアコミューター  
 与那国空港⇄那覇空港 琉球エアコミューター

**\* 八重山圏域の交通**

南ぬ島石垣空港⇄石垣離島ターミナル

- ・バス 所要時間 約 30 分～45 分
- ・タクシー 所要時間 約 30 分

**船で … 石垣島離島ターミナルから各離島へ**

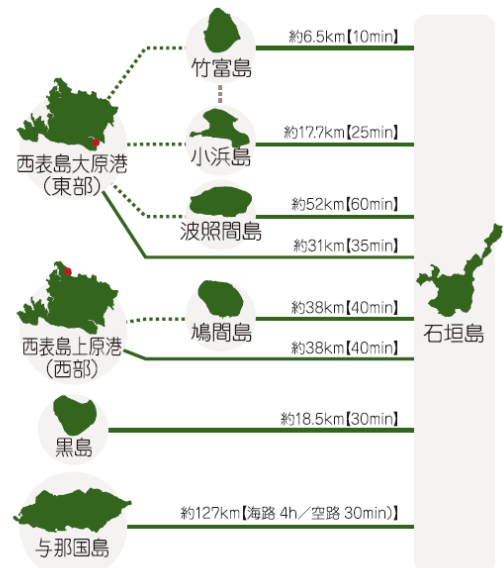
航路	所要時間	会社名
→ 竹富島	10分	八重山観光フェリー 安栄観光
→ 西表島(大原港)	35-45分	
→ 西表島(上原港)	40-45分	
→ 小浜島	25-35分	八重山観光フェリー/安栄観光
→ 黒島	25-35分	
→ 鳩間島	40-55分	八重山観光フェリー/安栄観光
→ 波照間島	60分	安栄観光
→ 与那国島	4時間	福山海運

**飛行機で … 石垣島から与那国へ**

航路	所要時間	会社名
→ 与那国島	30-35分	JTA(RAC)

**◆お問合せ先**

八重山観光フェリー	☎0980-82-5010	福山海運	☎0980-82-4962
安栄観光	☎0980-83-0055	JTA(RAC)	☎0570-025-071
石垣島ドリーム観光	☎0980-84-3178		



※-----部分は離島間での航路になります。詳細は直接お問合せください。

**【外国人観光客への対応】**

- ・空港案内所での多言語対応（石垣市・空港ターミナルが運営）
- ・石垣市による観光従事者向け語学研修（英語・中国語）
- ・多言語対応のパンフレット制作
- ・WEB サイトでの情報発信
- ・沖縄県が実施する「多言語コンタクトセンター」の活用促進

**3. 各種データ等の継続的な収集・分析**

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	観光消費による経済波及効果を把握	「沖縄県観光統計実態調査」「沖縄県外国人観光客実態調査報告書」「八重山入域観光客数統計概況」による
延べ宿泊者数	観光客の宿泊エリア・動向を把握	
来訪者満足度	八重山圏域に対しての観光客の評価を把握することで、継続的に旅行者の訪れる観光地域づくりのため	
リピーター率	観光消費額の安定的な基盤の構成の為。リピーターを増やし、他社推奨意向を高め、新規訪問者の取り組みに繋げる。	
自社 HP 閲覧数	八重山圏域に対する顧客の関心度や背策の効果を把握するため	グーグルアナリティクスを活用して実施
ミス八重山 Facebook ページフォロワー数	八重山圏域の認知度および興味関心度合いを測るため	各 SNS のインサイト機能を活用して実施

ミス八重山 Instagram フォロワー数	八重山圏域の認知度および興味関心度合いを測るため	各 SNS のインサイト機能を活用して実施
八重山圏域の教育旅行学校数	本圏域に訪れる来島する学校数を把握するため	八重山教育旅行誘致委員会へのアンケートを実施

## 4. 戦略

### (1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による海外渡航制限は解除されたものの、全国旅行支援等により国内旅行の需要は引き続き高まっている。また、リゾート地などで休暇を楽しみながら仕事も行うワーケーションの台頭で、長期滞在のニーズも高まっている。
- ・インバウンドの受入再開に関しては、クルーズ船の受け入れは令和5年3月に再開したものの、石垣空港の国際線運航再開時期は未定である。
- ・SDGs（持続可能な開発目標）の17指標はすべてが直接・間接的に観光産業と関連があり、観光分野において持続可能性に意識的に取り組み、SDGsの達成に貢献することが求められている。
- ・観光従事者のみならず人手不足が常態化しており、レスポンスツーリズム（責任ある観光）という、よりよい地域づくりに果たす役割を考える機運が高まっている。

### (2) 地域の強みと弱み


	好影響	悪影響
内部環境	<p><b>強み (Strengths)</b></p> <p>・自地域で積極的に活用できる強みは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島々の観光コンテンツの多さ 「海洋」「自然・動植物」「文化・芸能」「食」「島の人たち・島々の個性」「風情」「工芸・陶芸」「星」</li> </ul>	<p><b>弱み (Weaknesses)</b></p> <p>・自地域で改善を必要とする弱みは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業者の人材不足や二次交通不足</li> <li>・島内産業への経済波及が限定的</li> <li>・世界自然遺産登録に伴う入域数の抑制と自然保護の調和</li> <li>・SDGs やグローバル対応</li> <li>・観光従事者の高齢化</li> <li>・感染症等に対応する医療体制</li> </ul>
外部環境	<p><b>機会 (Opportunity)</b></p> <p>・自地域にとって追い風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設増築</li> <li>・令和4年1月、石垣空港国際線ターミナルビル増築</li> <li>・令和3年7月、西表島世界自然遺産登録</li> <li>・令和2年3月、那覇空港第二滑走路供用開始</li> <li>・平成31年3月、日本初の星空保護区認定</li> <li>・平成30年4月、クルーズ船専用バースの暫定供用開始、令和5年3月、完全共用開始</li> <li>・円安、高単価国際需要の取り組み</li> </ul>	<p><b>脅威 (Threat)</b></p> <p>・自地域にとって逆風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際線運休に伴うインバウンドの減少</li> <li>・zoom等の浸透によるビジネス需要減</li> <li>・国内人口減少</li> <li>・尖閣諸島問題等による国際紛争、地政学的リスク</li> </ul>

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

### (3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層（国内） 日本国内（特に石垣空港との直行便を有する首都圏/中部エリア/関西エリア/福岡・北九州エリア）からの個人・団体旅行者。</p>
<p>○選定の理由 新型コロナウイルス感染症以降、海外からの観光客は激減しており、八重山圏域における海外からの観光客は令和5年度も令和元年の水準までは見込めないことから、国内観光客を第1ターゲットに選定。コロナ禍以降、ワーケーションなどで長期滞在をする国内個人旅行者も増えている。</p> <p>○取組方針 八重山諸島の豊かな自然を体感すること、また地域に根付く伝統文化芸能のコンテンツをニーズにより細分化し、体系的なアプローチを実施することにより、ターゲット層への的確で強力な訴求を行う。高付加価値な観光で長期滞在層の誘客に繋げる。</p>
<p>○第2ターゲット層 台湾、香港を中心とした東アジアからの個人旅行者。</p>
<p>○選定の理由 コロナ禍における訪日外国人旅行調査【沖縄版】によると、アジア居住者では沖縄の認知度が48%、「訪問意向が22%であることに対し、石垣については認知度が11%、訪問意向が3%に留まり、沖縄の認知度に比べ石垣の認知度が低いものの、欧米豪と比較すると高い結果となった。新型コロナウイルス感染症以前、石垣空港を発着する国際線は台湾便と香港便があり、国際線の運航再開の際に見込まれる外国人客は同地域から想定される。</p> <p>○取組方針 石垣市の航路（飛行機、船）開設に連動。現時点では見通しが無いが、石垣市のプロモーションに連動、協力し国際線再開、新定期航路開設を目指す。</p>

#### （4）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>八重山圏域の来訪者に向けた八重山の8つの魅力を現したキャッチフレーズ「島色、無限大∞」とロゴを設定。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
②コンセプトの考え方	<p>無限大のマーク「∞」と八重山の「八」の数字をかけて、8つの魅力を「8」の形に型取っている。8つの魅力には、それぞれ意味合いのあるテーマカラーを設定。文字ロゴには8つの魅力それぞれのテーマカラーを組み込み、無限大のマーク「∞」とリボンの形を組み合わせた中央の水引は、「結いの心」で、8つの魅力をひとつに纏め上げるデザインになっている。</p> <p>（1） 海洋…マンタ、サンゴ、カジキ →美しい八重山の海のライトブルー</p>

	<p>(2) 自然・動植物…ヤエヤマヤシ、イリオモテヤマネコ →自然の強い息吹を感じるグリーン</p> <p>(3) 文化・芸能…アングマ →伝統を重んじるしっかりとしたブラウン</p> <p>(4) 食…パイナップル →太陽の光をいっぱい浴びた元気なオレンジ</p> <p>(5) 島の人たち・島々の個性…てのひら →人々の暖かさを感じるピンク</p> <p>(6) 風情…カンムリワシ、デイゴ →深紅に染まる春のデイゴのレッド</p> <p>(7) 工芸・陶芸…ミンサー織 →代表的なミンサー織の八重山の海のブルー</p> <p>(8) 星…南十字星 →美しく光る星々が映える深い夜空のバイオレット</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働による観光まちづくりを推進するため、石垣市主導の観光地経営戦略会議および観光地経営戦略チーム（不定期）にCMOとCFOが参画。観光事業者ネットワークとの連携、調整を核としつつ、市民や事業者との共同体制を構築。</li> <li>・令和4年度、竹富町の観光振興基本計画にあたり、CMOが行政との意見交換に参画（全3回）</li> <li>・八重山ビジターズビューローが主催する理事会（年3～4回程度および八重山圏域ビジョン会議（年2回程度）において事業内容、戦略を共有。また外部有識者委員会（年2回程度）の識者の意見に基づき戦略を磨き上げ。</li> </ul>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣市特産品振興組合による厳正な審査に合格した特産品に石垣市特産品認定証が与えられ、品質や安心を保証。</li> <li>・沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全確保等に関する条例により、マリレジャー事業者は公安委員会へ届出が必要となっている。また石垣市消防本部や八重山警察署、石垣海上保安部などの関係機関により、八重山地区水難事故防止推進協議会が組織され、八重山における水難事故防止に関する啓発活動を行っている。</li> <li>・石垣市観光交流協会、竹富町観光協会による星空ガイド育成講座を通じたガイド認定を実施。</li> <li>・竹富町観光案内人条例により、西表島の自然観光ガイドの免許制度を制定。西表島の優れた自然を守りながら地域に根差した質の高いガイドツアー提供を目指す。</li> <li>・西表島の観光客急増を抑制し、住民生活や自然環境への影響を最小限に抑えるために、平成31年度「持続可能な西表島のための来訪者管理基本計画」を策定。改定に向けた作業部会（CMOが参画）で同計画の見直し、入域観光客数の水準等について議論を行った。（令和4年度まで）</li> <li>・エコツーリズム推進法に基づき西表島エコツーリズム推進協議会を設置。自然体験ゾーン、保護ゾーン、一般利用ゾーンとエリアごとにルールを定める等している。</li> </ul>



観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八重山観光親善大使（ミス八重山）の公式 SNS（Facebook、Instagram）を通じた情報発信やプロモーションを実施。</li> <li>・YVB、石垣市観光交流協会、竹富町観光協会、与那国町観光協会の HP にて地域イベント情報を発信。</li> <li>・八重山観光アプリ「島色、無限大∞」を通じて、観光情報他、イベント情報を発信。</li> <li>・与那国島の女性観光客の増加を狙った「私に還る。与那国島」の特設 WEB サイト・公式 SNS にて情報発信。</li> </ul>
---------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

## 6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

### （1）必須K P I

指標項目		2020 (R 2) 年度	2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度
●旅行消費額 (億円)	目標	1,038 (105.6)	未設定 (未設定)	700 (17)	1,174 (未設定)	1,238 (未設定)	1,304 (未設定)
	実績	387.1 (0)	495.4 (0)	946.6 (0)	/	/	/
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	4,207 (218)	未設定 (未設定)	2,961 (75)	3,213 (未設定)	3,486 (未設定)	3,782 (未設定)
	実績	1,501 (0)	2,003 (0)	未 (未)	/	/	/
●来訪者満足度 (%)	目標	98 (80)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)
	実績	96.9 (N.A)	96.9 (N.A)	未 (未)	/	/	/
●リピーター率 (%)	目標	63.3 (55.7)	54.6 (未設定)	57.3 (未設定)	60.2 (未設定)	60.0 (未設定)	60.0 (未設定)
	実績	52.0 (N.A)	59.6 (N.A)	未 (未)	/	/	/

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※訪日外国人旅行者の目標値については、八重山における国際線空路、海路の具体的再開見通しが立たないため、未設定とする。

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

沖縄県および石垣市の観光基本計画をベースにして、YVBにて策定。

### 【設定にあたっての考え方】

#### ●旅行消費額

実績については、沖縄県八重山事務所による「八重山入域観光客数統計概況（推計）」（総計）と沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、実績および第6次沖縄県観光振興基本計画および第2次石垣市観光基本計画をベースに105.4%の伸び率で設定。

#### ●延べ宿泊者数

実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計実態踏査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、実績および第6次沖縄県観光振興基本計画および第2次石垣市観光基本計画をベースに108.5%の伸び率で設定。

#### ●来訪者満足度

実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計実態調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、現状の高い水準を維持することを目標として設定。

#### ●リピーター率

実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計実態調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、実績及び「石垣市観光基本計画」「竹富町観光振興基本計画」「与那国町観光振興計画」をベースに5%の伸び率で設定。最終的には60%を維持することを目標値とする。

## （2）その他の目標

指標項目		2020	2021	2022	2023	2024	2025
		(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度	(R6) 年度	(R7) 年度
●八重山の教育 旅行実施校数 (単位：校)	目標	162	159	154	126	130	135
	実績	42	74	166			
●自社HP閲覧数 (PV)	目標	25,000	25,000	22,000	24,000	25,000	
	実績	20,333	21,582	23,377			
●ミス八重山 Facebookペー ジフォロワー 数	目標	—	—	6,200	6,200	6,300	6,400
	実績	5,850	6,028	6,083			
●ミス八重山 Instagramフ ォロワー数	目標	—	—	7,000	7,500	8,000	8,500
	実績	未集計	6,351	6,861			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**

- ・八重山の教育旅行実施数：八重山教育旅行誘致委員会にて検討。実績については八重山教育旅行誘致委員会へアンケートを実施
- ・自社 HP 閲覧数：これまでの閲覧数を考慮し、毎年同水準の閲覧数を設定
- ・ミス八重山 Facebook ページフォロワー数：これまでの増加数を考慮し、毎年同水準の伸び数を設定
- ・ミス八重山 Instagram フォロワー数：これまでの増加数を考慮し、毎年同水準の伸び数を設定

**【設定にあたっての考え方】**

- ・八重山の教育旅行数：定期的な委員会の会議により検討。月毎の入込の平準化にも活用
- ・自社 HP 閲覧数：八重山への興味関心の度合いを測るために設定
- ・ミス八重山 Facebook ページフォロワー数：八重山の認知度および興味関心の度合いを測るために設定
- ・ミス八重山 Instagram フォロワー数：八重山の認知度および興味関心の度合いを測るために設定

**7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し**

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。  
 ※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

**（1）収入**

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2020（R2） 年度（実績）	69,259,701（円）	【市町からの負担金】16,819,000円 【県受託事業】35,863,034円 等
2021（R3） 年度（実績）	52,129,922（円）	【市町からの負担金】16,057,513円 【県受託事業】18,141,987円 等
2022（R4） 年度（実績）	50,931,219（円）	【市町からの負担金】19,070,192円 【県受託事業】21,144,932円 等
2023（R5） 年度	51,863,450（円）	【市町からの負担金】21,656,650 【県受託事業】19,796,000
2024（R6） 年度	51,863,450（円）	【市町からの負担金】21,656,650 【県受託事業】19,796,000
2025（R7） 年度	51,863,450（円）	【市町からの負担金】21,656,650 【県受託事業】19,796,000

**（2）支出**

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2020（R2） 年度（実績）	60,382,837（円）	【観光関連事業費】60,691,448円 【一般管理費】4,934,868円
2021（R3） 年度（実績）	53,993,054（円）	【観光関連事業費】49,848,441円 【一般管理費】4,144,613円
2022（R4） 年度（実績）	47,852,121（円）	【観光関連事業費】45,179,020円 【一般管理費】2,673,101円

2023 (R5) 年度	50,778,439 (円)	【観光関連事業費】 45,510,891 円 【一般管理費】 5,267,548 円
2024 (R6) 年度	50,778,439 (円)	【観光関連事業費】 45,510,891 円 【一般管理費】 5,267,548 円
2025 (R7) 年度	50,448,439 (円)	【観光関連事業費】 45,510,891 円 【一般管理費】 5,267,548 円

### (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

継続的な運営資金確保の可能性を多方面から検討中。

- ・コンソーシアム等の事務局受託による受託手数料
- ・石垣島内の公営施設の管理収入
- ・自主運営事業（物販等）の検討

## 8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

石垣市、竹富町、与那国町は一般社団法人八重山ビズターズビューロー（登録DMO）第9回定時社員総会（令和5年6月20日）において、令和4年事業報告ならびに計算書類、令和5年事業計画ならびに収支計画を承認しました。

特に地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業、八重山観光・交通コンソーシアムについて評価と期待の意見あり。

## 9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複なし

## 10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	飯田 晃子
担当部署名（役職）	事務局
郵便番号	907-0022
所在地	沖縄県石垣市大川 547 興ビル 206 号室
電話番号（直通）	0980-87-6252
FAX番号	0980-87-5509
E-mail	dmo@yvb.jp

## 1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	石垣市役所
担当者氏名	西銘 基恭
担当部署名（役職）	企画部観光文化課 課長
郵便番号	907-8501
所在地	沖縄県石垣市真栄里 672 番地
電話番号（直通）	0980-82-1535
F A X 番号	0980-82-1911
E - m a i l	nishime@city.ishigaki.okinawa.jp

都道府県・市町村名	竹富町役場
担当者氏名	通事 太一郎
担当部署名（役職）	自然観光課 課長
郵便番号	907-0012
所在地	沖縄県石垣市美崎町 11-1
電話番号（直通）	0980-83-1306
F A X 番号	0980-82-9901
E - m a i l	touji-t@town.taketomi.okinawa.jp

都道府県・市町村名	与那国町役場
担当者氏名	田島 忠幸
担当部署名（役職）	企画財政課 課長
郵便番号	907-1801
所在地	沖縄県八重山郡与那国町字与那国 129
電話番号（直通）	0980-87-2241
F A X 番号	0980-87-2079
E - m a i l	tajimat@town.yonaguni.okinawa.jp



基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

沖縄県石垣市、竹富町、与那国町

【設立時期】平成27年4月1日

【設立経緯】八重山圏域の観光事業の発展、観光客の誘致を図るため、併せて八重山圏域の観光を通じた経済活性化、群民の文化の向上に寄与することを目的とし設立。

【代表者】中山 義隆(石垣市長)

【マーケティング責任者(CMO)】我那覇 宗広

【財務責任者(CFO)】綿貫 周平

【職員数】7人(常勤7人(正職員3人・出向2人、事業雇用2人))

【主な収入】

県受託事業費約21百万円、受取負担金約19百万円(R4年度決算)

【総支出】

事業費約45百万円、管理費約3百万円(R4年度決算)

【連携する主な事業者】

3市町の各観光協会、3市町の各商工会、八重山経済人会議、JAおきなわ-八重山、八重山漁業協同組合、石垣島特産品詰め隊、八重山タクシー事業協同組合、東バス、八重山観光フェリー、安栄観光、沖縄県政業協会八重山支部、八重山地区宅地建物取引業社会、海上保安庁第11管区

KPI(実績・目標)

記入日: 令和5年7月25日

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6) 年	2025 (R7) 年
旅行消費額 (億円)	目標	1,038 (105.6)	未設定 (未設定)	700 (17)	1,174 (未設定)	1,238 (未設定)	1,304 (未設定)
	実績	387.1 (0)	495.4 (0)	946.6 (0)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	4,207 (218)	未設定 (未設定)	2,961 (75)	3,213 (未設定)	3,486 (未設定)	3,782 (未設定)
	実績	1,501 (0)	2,003 (0)	未 (未)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	98 (80)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)
	実績	96.9 (N.A)	96.9 (N.A)	未 (未)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	63.3 (55.7)	54.6 (未設定)	57.3 (未設定)	60.2 (未設定)	60.0 (未設定)	60.0 (未設定)
	実績	52.0 (N.A)	59.6 (N.A)	未 (未)	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

日本国内(特に石垣空港との直行便を有するエリア)からの個人/団体旅行者

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

八重山諸島の豊かな自然を体験すること、地域に根付く伝統文化芸能のコンテンツをニーズにより細分化し、体系的なアプローチをすることにより訴求を行う。高付加価値な観光で長期滞在層の誘客に繋げる。

【観光地域づくりのコンセプト】

八重山の8つの魅力を現した「島色、無限大」

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・星空ツアーを中心としたナイトタイムコンテンツ商品を造成、磨き上げ。
- ・琉球泡盛と地域観光資源を組み合わせた高付加価値ツーリズム商品を造成。

【受入環境整備】

- ・CRMアプリ「島色、無限大」を活用した地域データベースの構築。
- ・八重山観光・交通コンソーシアム交通事業者を中心にコンソーシアムを設立し交通事業者との連携を図る。

【情報発信・プロモーション】

- ・地元の生活と密着した要素にスポットを当てたSNSでの情報発信。(八重山島ぐらしカレッジ)
- ・国内外における八重山関連行事等においてPRと親善交流を実施。(八重山観光親善大使 ミス八重山)